

もう 「ホー ホケキョ」

今年の冬は雪がなく穏やかな日々が続いています。もう春のようです。2月22日の日の出は6時40分で、随分速くなりました。その帰りに、ウグイスのさえずりを聞きました。春を感じるマルバマンサクの花も咲いていました。先日はフキノトウを採っててんぷらにして味わいました。今年は、どんな城山になるか楽しみでもあり不安もあります。



笠取道歩いて『千野道・笠取道』

ずっと以前からこの道は気になっていた。傍らの畑で勤しむ人に何うと、多根からの道であることが確認できた。県道藤野花園線の途中で「飯川道」は横断して山道は続く。

11月には塚林さんにも確かめ、山道を探しながら上った。なんとか「升形山」に到着し「笠取道」を歩いて大谷川まで辿ることができた。また、城石線の工事現場まで歩いた。

12月も「飯川道」を探しながら山を上ると尾根にははっきりした道があった。「飯川道」の尾根道はすぐ竹の林に入った。孟宗竹や木々が倒れているので道を避けて林の中を歩いた。しばらく歩くと笹が道を覆っていた。藪を掻き分けて歩くとそこは「笠取地藏」の分岐点であった。途中に大きく左にカーブして下ると七尾の中心部が見渡せた。そこから下ること1分も経ず徳田の町並みが見え、道はすぐ途切れた。そこは上り始めた谷を見下ろす切通しの一番高いところであった。そこを下ると石積みと赤い杭があり、さらに下ると3～4段の落ち葉に隠れた階段もあった。今年は雪がなく山歩きは楽だと2月にも写真をとるため再度を歩いた。農免道路から上ることにした。上り始めてキツネが足早に道を横切って藪中に消えた。地図上の太い道は「多根ダムの送水管」用の道であった。その道とところどころで交わりながら県道まで延びていた。

これで「笠取道」「飯川道」「千野枅形山」も確かめることができた



途中の笹藪や倒れた木々がなければ大きな歩きやすい道であり、多くの人が石動山に向かって歩いたことも想像できた。

石動山の「多根道」も今冬の雪のために木々が倒れ道も崩壊しているという。実状を見に行こうと思っている。

シュンラン